

# ESD-Jセミナー

## 第3回企業とESD/SDGs

福井光彦

# 企業にとって取り組む必要性～リスクと機会

## リスクの側面

- 対応しない、あるいは対応が遅れると、特に長期的な視点ではリスクとなる。（規制への対応の遅れ、レピュテーションリスク、ESG投資の流れ）。最悪のリスクとしては公害等の健康被害リスク。（チツソの例）

## 機会（チャンス）の側面

- 社会的課題の解決に貢献し、社会的な評価を受ける。
- 新しい視点の商品・サービス開発につながる。SDGsは12兆ドルマーケット。（ホンダの例～ホンダのCVCCエンジン開発では、トップダウンとボトムアップの双方が機能・・・**トップダウンとボトムアップの融合**）

# 具体的事例を通じて考える (2社の事例を紹介)

## ① (株)SOUGO

- ・環境に配慮した印刷事業を推進。
- ・また、創業者である前社長の意思を引き継ぎ、「医薬部外品・化粧品事業」「健康づくりを推進する宿泊施設の運営」等を展開。
- ・SDGs研修等により社員の意識向上、「人々の健康と環境配慮に取り組む」企業を目指す。

## ②SOMPOホールディングス

- ・92年から、当時の社長のトップダウンにより、環境問題への取り組みをスタート。
- ・保険事業、金融事業を通じた環境問題への貢献をはじめ、約款等のペーパーレス化やリサイクル部品の活用を推進。
- ・また、NGO, NPOと連携した市民向けの連続公開講座やCSOラーニング制度等を展開。

# 具体的事例からの学びとアンケートの意見

## ① 具体的事例からの学び

- ・両社とも創業者やトップの意思、理念をいかに引き継ぎ、職員やステイクホルダーと共有し、さらに発展していくかが課題。
- ・取り組みを形だけのものにしないよう、一人一人が理念を共有し、自分に何ができるか考えることが大切。「**理念の共有と具体的活動への参画**」を促すものが、**企業のESD**と言えるのではないか。

## ② アンケートの主な意見

- ・企業の具体的な取り組みが聞けて良かった。多くの事例を知りたい。
- ・取り組みの背景や歴史の大切さが理解できた。
- ・トップダウンとボトムアップの双方が必要と理解できた。
- ・もう少し少人数で突っ込んだ議論がしたかった。 等

# 今後の予定

- ・今年度のセミナーにおいても、企業とESD, SDGsをテーマとしたものを用意していきたい。
- ・その際は、アンケート結果も踏まえ、できるだけ具体的な施策や取り組みを見ながら、SDGs、ESDを考えていくこととしたい。
- ・6月には「プラスチックごみ問題を考える」をテーマとし、  
環境省の方から課題と施策を、サントリーの方から現在と今後の具体的な取り組みをお話しいただき、参加者と意見交換していく予定。  
皆様の積極的な参加を期待。